

特異な政治体制のもとを不屈の闘志で生き抜いた天才

ショスタコーヴィチ その1

【第一部】 幻の映画鑑賞 ドキュメンタリー映画

「ドミートリ・ショスタコーヴィチ ヴィオラ・ソナタ」

監督:アレクサンドル・ソクロフ、セシオン・アラノヴィチ(1981年)

「スターリン時代をはじめとするソビエト圧政下で、時の権力との確執との迎合を繰り返し、其の真意が今もって謎に包まれている作曲家、ショスタコーヴィチ。彼の実像に肉迫した本作品の内容は、ペレストロイカ発動直前と言う制作当時の複雑な政治状況下では、限りなくタブーに近いものだった。KGBは上映禁止を命じ、フィルム没収を画策するもソクロフらは危険フィルムを隠蔽。

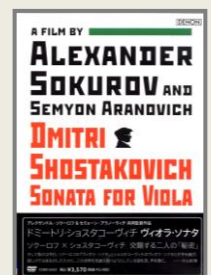


ゴルバチョフ政権への移行を経た87年ようやく日の目を見ることになる。ショスタコーヴィチの遺作であり、その内政的でミステリアスな曲には、作曲家自身の遺言と告白が密かに埋め込まれていると言われている「ヴィオラ・ソナタ」。はたして、標題にその名を冠したソクロフたちの真意とは……。」

(ライナーノートより)

マニア必見映像!!

- *ムラヴィンスキー指揮の交響曲第5番フィナーレシーン
- *バーンスタイン&ニューヨークフィル モスクワ公演
交響曲5番フィナーレ演奏シーン



【第二部】 CDソフト鑑賞

- *遺作「ヴィオラ・ソナタ」 ユーリー・バシュメット
- *19歳の作品「交響曲第1番」



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日 時 / 7月9日(日) 13:30~15:45

場 所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 山本 一成 全10回予定

参加自由・入場無料

問い合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>